



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社オーイズミ 上場取引所 東  
 コード番号 6428 URL http://www.oizumi.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大泉 秀治  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)前田 信夫 (TEL)046(297)2111  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,549	△18.0	△241	—	△420	—	△514	—
29年3月期第3四半期	10,422	△27.2	885	△51.4	836	△52.0	734	△32.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 △497百万円(—%) 29年3月期第3四半期 698百万円(△35.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	△22.85	—
29年3月期第3四半期	32.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	32,618	14,596	44.7
29年3月期	35,094	15,295	43.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 14,596百万円 29年3月期 15,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	9.0	9.0
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	9.0	9.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,200	△15.7	△150	—	△380	—	△530	—	△23.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期3Q	22,500,000株	29年3月期	22,500,000株
30年3月期3Q	4,571株	29年3月期	4,571株
30年3月期3Q	22,495,429株	29年3月期3Q	22,495,476株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動等不透明感があったものの、雇用情勢等の改善が進むなか景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの主要販売需要先となる遊技場は、『特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律（IR推進法）』に関連して、遊技プレーヤーののめり込み防止の観点から平成29年9月4日に公布された『風俗営業等の規則及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検討等に関する規則の一部を改正する規則』が、平成30年2月1日に施行を控えていることからリプレイスを含む設備機器に係る商談案件は先送りする状況が続いております。

このような状況のなか、販売提案力の強化や製品開発体制を見直し、販売管理費の削減を進めてまいりましたが、当第3四半期累計期間の売上高及び利益は想定値を下回りました。

機器事業は、周辺設備機器部門において、メンテナンスフリーを可能にする『樹脂研磨式メダル自動補給システム』と複数の貸し玉単価にフレキシブルに対応する『多機能IC玉・メダル貸機』の拡販に引き続き注力いたしました。また、遊技機部門においては、パチスロ機の新基準機の需要が想定以上に低調が続いており、販売戦略上リリースを第4四半期に繰り延べることといたしました。このような市場環境により機器事業全体の収益は前年同期を下回ることとなりました。

不動産事業は、安定的な収益を確保いたしました。

電気事業においては、連結子会社/神奈川電力株式会社が神奈川、栃木両県の太陽光発電所（発電能力合計24メガワット）を順調に稼働させました。

コンテンツ事業においては、連結子会社2社/株式会社オーイズミ・アミュージオ、及びレッド・エンタテインメントがパッケージゲーム、オンラインアミューズメント、アニメキャラクターの企画制作等の事業を行いました。

連結子会社/妙高酒造株式会社が酒造・酒販事業を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高8,549百万円（前年同期比18.0%減）、経常損失420百万円（前年同期は836百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失514百万円（前年同期は734百万円の利益）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### （機器事業）

機器事業は、当第3四半期は売上高6,553百万円（前年同期比20.7%減）、調達済みのパチスロ機製造用部材の評価損(売上原価)686百万円を計上してセグメント損失316百万円（前年同期は892百万円の利益）となりました。

#### （不動産事業）

不動産事業は、当第3四半期は売上高511百万円（前年同期比1.8%減）、セグメント利益254百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

#### （電気事業）

電気事業は、当第3四半期は売上高775百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益194百万円（前年同期比48.2%増）となりました。

#### （コンテンツ事業）

コンテンツ事業は、当第3四半期は売上高510百万円（前年同期比23.6%減）、セグメント損失7百万円（前年同期は43百万円の利益）となりました。

#### （その他事業）

その他事業につきましては、当第3四半期は売上高197百万円（前年同期比1.0%減）、セグメント利益5百万円（前年同期は4百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(平成29年3月31日)に比べ2,475百万円減少し、32,618百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,043百万円減少し、12,680百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少(781百万円減)、電子記録債権の減少(568百万円減)、仕掛品の減少(304百万円減)、原材料の減少(411百万円減)、その他に含まれる未収法人税等の減少(185百万円減)及び未収消費税等の減少(107百万円減)によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ432百万円減少し、19,938百万円となりました。これは主に建物及び構築物の減少(213百万円減)、機械装置及び運搬具の減少(424百万円減)、貸倒引当金の増加(170百万円増)の一方で、長期貸付金の増加(351百万円増)によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,776百万円減少し、18,022百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少(724百万円減)、1年内返済予定の長期借入金の減少(126百万円減)、長期借入金の減少(805百万円減)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ699百万円減少し、14,596百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少(716百万円減)によるものです。

この結果、自己資本比率は44.7%と前連結会計年度末に比べ1.1ポイント増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年11月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,149,924	5,368,613
受取手形及び売掛金	2,009,952	2,059,846
電子記録債権	1,758,612	1,189,812
商品及び製品	1,050,519	1,117,880
仕掛品	1,069,831	765,072
原材料	1,618,255	1,207,096
コンテンツ	25,093	14,260
繰延税金資産	75,798	42,180
その他	968,482	918,068
貸倒引当金	△3,000	△2,730
流動資産合計	14,723,468	12,680,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,491,065	4,277,950
機械装置及び運搬具(純額)	4,782,606	4,357,648
土地	9,404,236	9,415,598
その他(純額)	245,368	158,226
有形固定資産合計	18,923,276	18,209,423
無形固定資産		
ソフトウェア	44,088	114,126
のれん	84,316	71,669
その他	12,477	12,494
無形固定資産合計	140,883	198,290
投資その他の資産		
投資有価証券	275,136	324,636
長期貸付金	611,554	963,000
繰延税金資産	23,474	27,495
長期前払費用	405,983	407,122
その他	317,851	306,151
貸倒引当金	△327,320	△497,800
投資その他の資産合計	1,306,680	1,530,605
固定資産合計	20,370,839	19,938,319
資産合計	35,094,308	32,618,420

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,478,149	1,753,637
短期借入金	1,150,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	2,451,938	2,325,348
未払法人税等	73,218	49,050
賞与引当金	54,144	13,385
製品保証引当金	14,000	12,000
返品調整引当金	2,018	1,554
その他	396,696	342,102
流動負債合計	6,620,164	5,647,077
固定負債		
長期借入金	11,530,018	10,724,180
リース債務	29,243	24,336
繰延税金負債	16,104	21,743
役員退職慰労引当金	513,038	519,619
退職給付に係る負債	48,609	54,245
長期預り保証金	711,380	701,055
資産除去債務	330,091	330,145
固定負債合計	13,178,486	12,375,325
負債合計	19,798,651	18,022,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	13,592,879	12,876,369
自己株式	△4,271	△4,271
株主資本合計	15,269,207	14,552,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,449	43,318
その他の包括利益累計額合計	26,449	43,318
純資産合計	15,295,656	14,596,016
負債純資産合計	35,094,308	32,618,420

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	10,422,309	8,549,275
売上原価	8,063,233	7,451,955
返品調整引当金繰入額	39	△463
売上総利益	2,359,036	1,097,783
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	154,726	172,363
販売促進費	84,945	110,056
役員報酬	175,488	163,810
給料手当及び賞与	259,061	202,078
賞与引当金繰入額	7,329	7,309
退職給付費用	22,490	10,716
役員退職慰労引当金繰入額	7,669	6,580
製品保証引当金繰入額	13,000	12,000
貸倒引当金繰入額	1,452	△548
その他	747,458	654,541
販売費及び一般管理費合計	1,473,621	1,338,909
営業利益又は営業損失(△)	885,414	△241,126
営業外収益		
受取利息	3,831	3,221
受取配当金	5,420	7,670
企業立地奨励金	45,084	39,300
その他	31,266	21,838
営業外収益合計	85,602	72,030
営業外費用		
支払利息	73,852	65,594
貸倒引当金繰入額	33,000	175,723
その他	27,352	9,798
営業外費用合計	134,204	251,116
経常利益又は経常損失(△)	836,812	△420,211
特別利益		
固定資産売却益	898	49,352
子会社株式売却益	228,764	—
特別利益合計	229,662	49,352
特別損失		
固定資産除売却損	0	14,914
リース解約損	2,108	—
特別損失合計	2,108	14,914
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,064,366	△385,773
法人税、住民税及び事業税	183,479	100,470
法人税等調整額	146,076	27,806
法人税等合計	329,556	128,276
四半期純利益又は四半期純損失(△)	734,810	△514,050
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	734,810	△514,050



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	734,810	△514,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,820	16,869
その他の包括利益合計	△35,820	16,869
四半期包括利益	698,989	△497,181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	698,989	△497,181
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	8,268,151	521,112	765,260	668,052	199,732	10,422,309	—	10,422,309
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	33,120	—	77,870	610	111,601	△111,601	—
計	8,268,151	554,232	765,260	745,922	200,343	10,533,910	△111,601	10,422,309
セグメント利益又は損失(△)	892,735	240,495	131,307	43,231	△4,390	1,303,378	△417,964	885,414

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業を「その他」としております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△417,964千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度において連結子会社でありました、株式会社アルプスの社の全株式を譲渡したため、同社を連結の範囲から除外しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における当該事象によるのれんの減少額は、報告セグメントから除外した「福祉介護事業」における226,921千円であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社アルプスの社の全株式を譲渡したため連結の範囲から除外したことに伴い、同社が運営する「福祉介護事業」を報告セグメントから除外いたしました。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	6,553,901	511,583	775,662	510,338	197,788	8,549,275	—	8,549,275
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	34,815	—	25,326	569	60,711	△60,711	—
計	6,553,901	546,398	775,662	535,665	198,358	8,609,986	△60,711	8,549,275
セグメント利益又は損失(△)	△316,417	254,434	194,572	△7,036	5,709	131,262	△372,388	△241,126

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業を「その他」としております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△372,388千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。